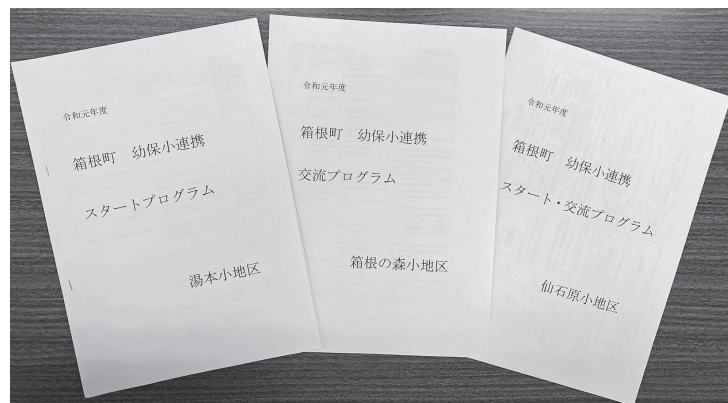


## 箱根町一貫教育のはなし

～ 一貫教育は小・中だけではありません ～

皆さんは、『小1プロブレム』という言葉を知っていますか。小1プロブレムとは、小学校に入学した子どもが、学習面や行動面で適応できず授業が成立しない状況を言います。『小1プロブレム』『小1問題』という言葉は、20年ほど前から新聞紙上で見られるようになりました。小1プロブレムの主な原因は、園と小学校の過ごし方のギャップの大きさにあり、そのギャップを埋めるために、幼稚園・保育所と小学校の連携が叫ばれるようになったのです。



写真①『スタート・交流プログラム』は『スタートプログラム』と『交流プログラム』を一緒にして掲示用に見やすくしたものです

箱根町では10年以上前から、小学校の1年担任と各園の年長担任、担当校長、3園代表副園長、教育委員会の担当指導主事で『幼・保・小連携推進委員会』を組織し、園から小学校への滑らかな接続のために、子どもの発達や学びの連続性について共通理解をし、それらを踏まえた連携のあり方を研究・実践してきました。

写真①は各小学校区の『スタートプログラム』『交流プログラム』『スタート・交流プログラム』です。3小学校区とも、毎年この3つのプログラムを改善・改良してバージョンアップを図っています。その結果、交流がイベント的なものではなく、互いの学び合いの場となりました。また、園児が小学校入学への期待を高めることにもつながりました。さらに小学生にとっては、園児との交流体験への思いや願いを膨らませたり、自分自身の成長を感じたりする機会となっています。

「今年度も一つひとつの交流が終わったら、互いの振り返りを共有しましょうね」

「その情報共有が次の交流を、さらによいものにしますからね」

『幼・保・小連携推進委員会』の中で、園の先生と小学校の先生がこんな会話を交わしていました。(写真②)園と小学校の先生が互いの教育を理解し、子ども同士

の交流を図ったり指導方法の工夫改善を図ったりしているので、箱根町の小1プロブレム出現率は『ゼロ』なのです。



写真② 昨年度の推進委員会の様子(湯本幼児学園にて)

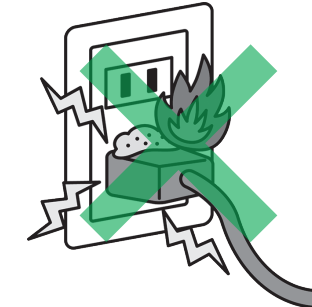
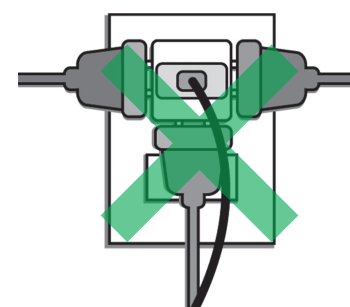
の交流を図ったり指導方法の工夫改善を図ったりしているので、箱根町の小1プロブレム出現率は『ゼロ』なのです。



## 8月は 電気使用安全月間です

たこ足配線していませんか。エアコンや洗濯機のアースは取り付けていますか。コンセントにホコリがたまっていますか。

見落としていたこと、またはついそのままにしていることなど、この機会に確認してみてください。



### 箱根土曜塾からのお知らせ No. 2

## ～今年度の「箱根土曜塾」の取り組み～

いよいよ8月から始まる箱根土曜塾。今年度の主な取り組み(予定)を紹介します。

- ① 箱根土曜塾では毎年、習熟度別に5名前後のグループに分かれて学習しますが、今年度は成績上位者と希望者(チャレンジしたい意欲のある人)で構成されたグループを作ることを検討しています。
- ② これまでも箱根土曜塾で活用されてきたオンライン学習システム(5教科対応)を使って、家庭学習を充実させようと考えています。自宅にインターネット環境とパソコンやタブレット端末があれば、自分のペースで1・2年生の復習から、苦手分野とその関連分野の演習などを繰り返し行うことができます。家庭での学習習慣を身につけるため、どのような課題を出していくのか検討中です!
- ③ 保護者向けサービスの充実として、保護者会、入試説明会、高校説明会、個別の進路相談など、状況に応じてオンラインを活用して行うとともに、授業公開をして保護者の見学の受け入れも考えています。また、月1回程度の「土曜塾だより」の発行と、メールアンケートを行うなどして、ご意見・ご要望を取り入れていきます。



照会先 教育委員会学校教育課 ☎85-7600